

ネギ葉枯病の発生生態と総合防除対策

(本文 45 ページ参照)



①黄色斑紋病斑



②先枯れ病斑



③斑点病斑

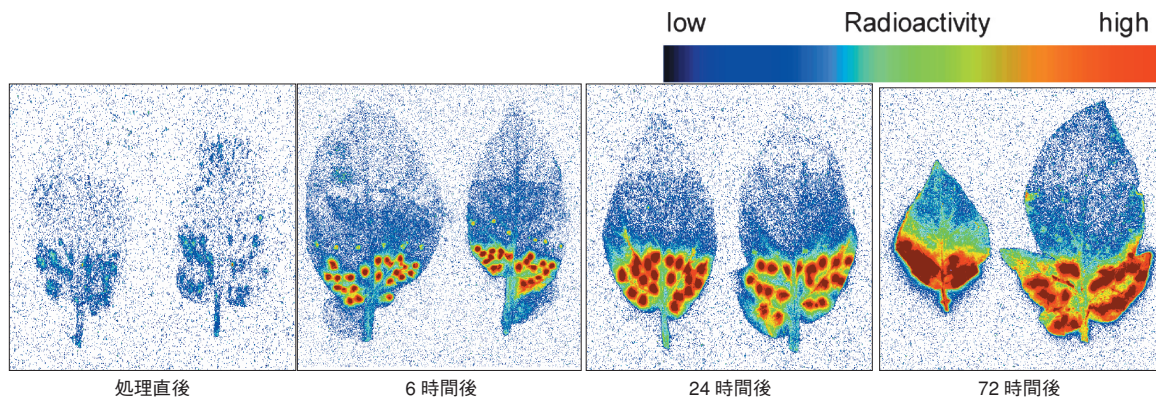


④黄色斑紋病斑上のネギ葉枯病菌 (*Stemphylium vesicarium*) の分生子

三澤中央氏原図

新規殺菌剤マンジプロパミドフロアブルの特徴と使い方

(本文 57 ページ参照)



バレイショ葉の葉肉組織へのマンジプロパミドの浸達と拡散 (シンジェンタ社, 2001 年)
 —バレイショの葉の表表皮に ^{14}C 標識マンジプロパミド溶液の液滴を 1 μl ずつ 20 箇所滴下し、
 暗黒下で管理、経時的にワックス層を除去し、蛍光像解析機で観察

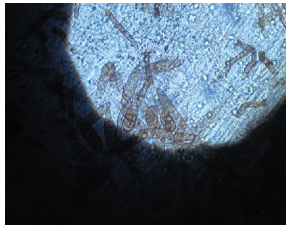
林 敬介氏原図

光学顕微鏡の使い方

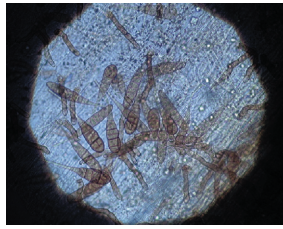
(本文 54 ページ参照)



①プレパラートに焦点を合わせ、光源絞りを絞り込む。



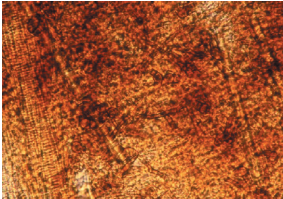
②コンデンサーを上下させて多角形
の光源絞り像が見えるようにする。



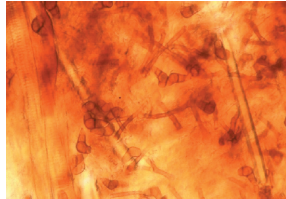
③光源絞り像を視野中央に
合わせる。



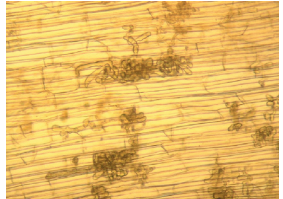
④光源絞り像を視野に外接させて
観察する (ネギ黒斑病)。



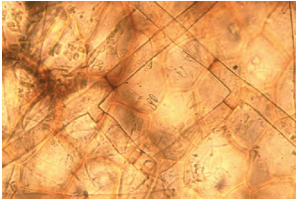
⑤コンデンサー絞りを絞った状態。



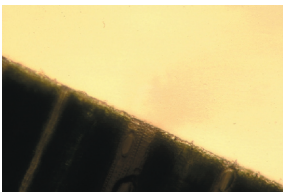
⑥⑤と同じ焦点で絞りを全開に
した状態。病斑上に形成され
た *Curvularia* の分生子が見え
る (グラジオラス赤斑病)。



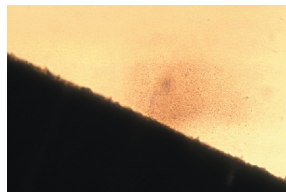
⑦宿主組織内の *Pythium*
菌体 (イネ苗立枯病)。



⑧宿主表皮上の *Rhizoctonia*
菌糸 (宿主はプロコリ)。



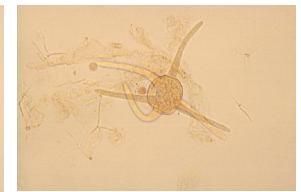
⑨開口度 80% で観察した状態。
宿主の導管が見える。



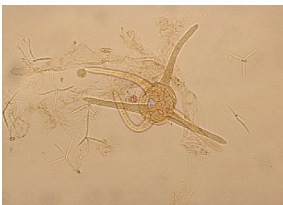
⑩⑨と同じ焦点で開口度 25% まで
絞り込んだ状態。細菌の流出が
よく見える (イネ白葉枯病)。



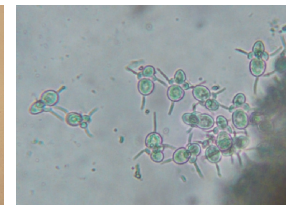
⑪開口度 90%、分生子の 6 本
の枝のうち 3 本は不鮮明である
(水生不完全菌 *Actinospora*
megalospora の巨大分生子)。



⑫開口度 80%、不鮮明だった 3
本のコントラストが高まり、巨
大分生子の全容が見えてくる。



⑬開口度 50%、分生子の 6 本の枝
が鮮明に見えるが、同時に周囲に
分散する別種分生子 (水生不完全
菌 *Alatospora acuminata* の微細
分生子) の写り込みも多くなる。



⑭コンパクトデジタルカメラで撮
影した画像 (*Entomosporium*
mespili の分生子)。



⑮開口度 25% に絞り込んだ画像。



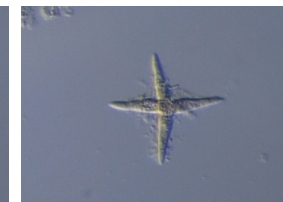
⑯開口度 90% に絞りを開いた
画像 (*Phragmidium* sp.)。



⑰十字型の構造を微分干渉顕微鏡で
撮影。X 軸方向のコントラストが低
く、Y 軸方向のコントラストが高い。



⑱⑰からステージを 45 度回転さ
せて撮影。コントラストが均等
になる。



⑲⑱撮影後、鏡筒上のカメラを回
転し、⑰と同じ構図で撮影した
もの (水生不完全菌 *Lemonniella*
terestris の分生子)。